

地方自治法施行 60 周年記念貨幣(山口県)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

『錦帯橋と秋吉台』



○ 錦帯橋と秋吉台をデザインしています。

※錦帯橋：山口県岩国市の錦川に架かる5連の木造橋。

1673年(延宝元年)岩国藩3代藩主吉川広嘉により創建された。日本三名橋や日本三大奇橋の1つに数えられ、国の名勝に指定されている。

※秋吉台：山口県のほぼ中央部にある日本最大のカルスト台地で、国立公園及び特別天然記念物に指定されている。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

るりこうじごじゅうのとう 『瑠璃光寺五重塔』



○ 国宝・瑠璃光寺五重塔をデザインしています。

※瑠璃光寺五重塔：山口市瑠璃光寺の境内にある檜皮葺の五重塔。室町時代中期における優れた建造物の1つであり、大内文化の最高傑作として、その美しさは日本三名塔の1つにも数えられている。大内氏26代盛見が兄大内義弘の菩提を弔うために建立を計画したと伝えられ、1442年(嘉吉2年)頃完成した。1952年(昭和27年)に国宝に指定されている。

(山口県作成資料より)